

Volume.041



徳山大学校友会誌

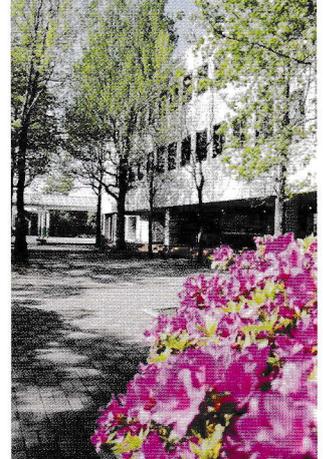
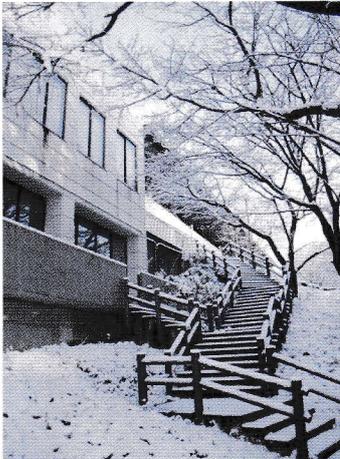
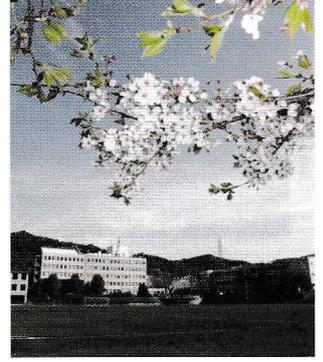
とくだい

発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内
TEL&FAX 0834(28)7454

発行日
平成29年3月20日

発行責任者 國廣 憲
編集責任者 藤井 辰郎



徳山大学体育祭の風景



写真中段中央は学生食堂の内部から積雪のあった日の様子です。春は桜、秋は紅葉、雪の降った日には特別な景色を楽しむことができます。3段目の写真は体育祭の様子です。文科系体育系また留学生、理事長・学長教職員も参加しての春のひととき。徳山大学ならではの行事として今も学生の手で運営されています。

(撮影：中村道陽)

平成28年評議員会 開催される

平成28年度評議員会が6月25日周南市内のホテルサンルート徳山で開催されました。

まず國廣会長より、挨拶の中で大学理事として「5年後に創立50周年を迎えるに当たり大学では、中期経営計画を打ち出している」「今後は大学あつての校友会であり、これまでも何度も提言してきたが、公立化検討についても意見をさらに交わしていきたい」などと大学の現状と課題について報告されました。

このあと平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画・予算について審議され、承認されました。

この中で井上幹事長より「徳山大学理事長として池田和夫氏が再任されました。理事長、並びに学長を支援するとともに、地域の中でより大学が存在感を示していくための支援活動や、提言を行って参ります」また「会員相互の親睦・交流発展のために、支援活動等についても継続的に取り組んで参ります」と活動方針が述べられました。

評議員会のあとは、懇親会が行われ、和太鼓やギターの演奏なども交えて、和やかにひとときが送られました。



第30回関東支部同窓会 開催される

関東支部同窓会が、平成28年12月10日(土)東京銀座ライオン汐留店にて26名の卒業生が参加して行われました。会の初めに出口啓介支部長より、「関東支部は地道ながらも30年着実に活動を続けて来ることができたのも、会員の皆様の愛校心と徳山大学・徳山大学校友会のご支援・ご協力の賜物と存じ感謝申し上げます」と挨拶がありました。

この会には大学より池田和夫理事長、また校友会本部より國廣会長、瀬川副幹事長、元山事務局次長が出席して30周年の同窓会に花を添えました。

これからも、母校を見守りつつ、お互いの校友関係を深める有意義なひとときになりました。



「大学公立化」要望書提出する

平成29年2月3日國廣会長・廣瀬副会長が徳山大学を訪問し、※徳山大学の平成16年施行地方独立行政法人化に基づく公立法人化に関する要望書を提出しました。

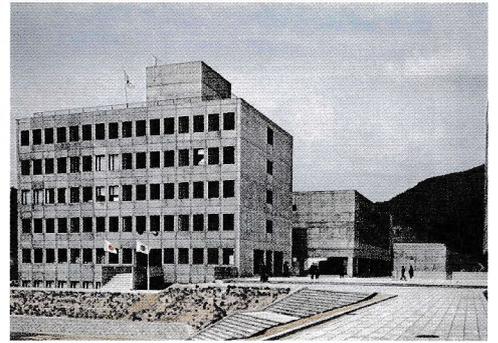
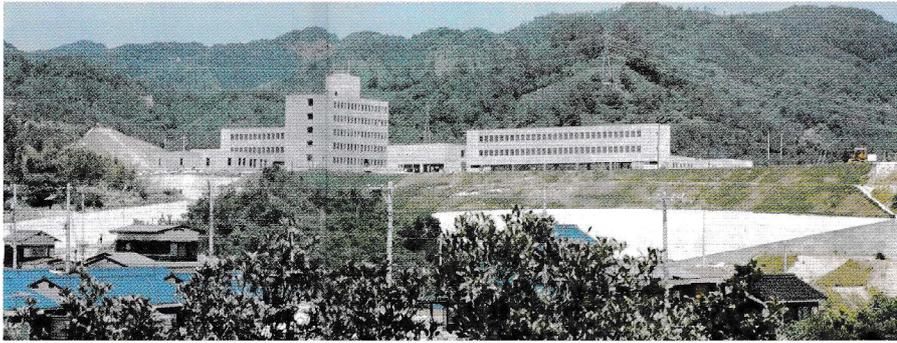
これまでも校友会では徳山大学に対しての現状改革のための方策を提言していき、今回は今後特に、大学が存続していく上で重要な項目として検討されるであろうこととして、「公立化」について要望書として提出しました。

要望書の中では、地方都市社会の活性化、市の振興に尽力、産業の発展、地域経済効果の実現とともに高度の教育・文化をもった理想都市及び人材の育成を目標に、山口県及び周南市(旧徳山市)の実現の一翼を担うものとして重要性などを述べている内容となっています。



※平成16年施行地方都市独立行政法人化に基づく公立化
地方公共団体が設立者となり、公立大学の運営を自律的・弾力的に行うもので、これまでも名桜大(沖縄)高知工科大、鳥取環境大、長岡造形大、静岡文化大、山口東京理科大、長野大(H29.4月以降予定)などが「私立」から「公立」へ転換を図り、何れも志願者を増やし地域振興に貢献できる人材育成等の教育活動の展開に成功している。周南市が設置した場合、内部留保などの徳山大学財産を活用するため初期投資はなく、このため、県や市に財政負担をかけない。また、公立大学法人の場合、教職員の身分は非公務員となる。

【懐かしのキャンパス】 昭和46年～昭和49年の大学案内（パンフレット）をひもといてみました。



昭和48年度パンフ高村徳山市長のメッセージ

地域社会へのつながり



徳山市長
高村坂彦

徳山は、緑の山を背に、瀬戸内海公立公園を一望におさめることのできる恵まれた自然環境のなかにある。ここは近代的な大工場が多く、活気があり、しかも緑地帯もあって、落ち着いた雰囲気産業都市である。バイパスや山陽新幹線の建設によって中国地方の一大拠点になろうとしている。

徳山市が大学誘致を計画したのは、連鎖的な大学紛争の状況を考え、父兄も安心して入学させることができ、また学生も立派な大学教育を受けられる理想的な大学が欲しいと考えたからであります。

今や、学問するために東京に行くという時代は去りました。むしろ環境のよい地方に立派な大学が分散設立される時代となり、このことは先進諸国で早くから行われています。東京にある大学も、三多摩の地に、あるいは近県に分散されつつあります。

こうした意味で、私立大学の特徴と公立大学の長所とを合わせ持つ理想的な大学をめざして創設された徳山大学は、教授陣容も地方大学としては稀にみる立派なものであります。

来春、大学に進学される学生諸君には、こうした大勢も考えていただき、せっかく大いなる使命をもって生まれた徳山大学にすすんで受験せられることを切望する次第です。

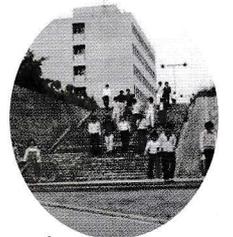
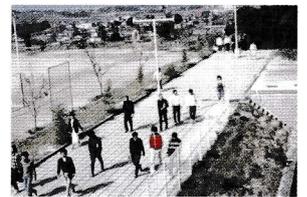
昭和49年度パンフ今田学長のメッセージ



学長
今田竹千代

今日の日本は、文化の偏在が極端化し、都会は最悪の教育環境となっている。私の常に言う文化のUターンが今こそ、ただちに決断と実行に移されるべきである。徳山大学は、この日本の文化運動の先頭にたつて、この理念を実現せねばならないと確信する。

また、激動する世界の政治経済の動向は、経済大国日本の前途が容易でないと感じさせるとともに、今日の日本人は、物質的欲望が十分に満たされている反面、最も大切な道徳的・精神的支柱を失っているかにみえる。この現実をふまえ、知徳体一体の教育という平凡にして非凡な



下宿

通学不可能な学生には、徳山市に広大な住宅地ができ上がりつつあることでもあり、学生課で直接交渉にあたり、親身に世話をしていただけ家庭をリストアップし責任をもってよい下宿を斡旋しうよう準備している。

下宿・貸間の状況

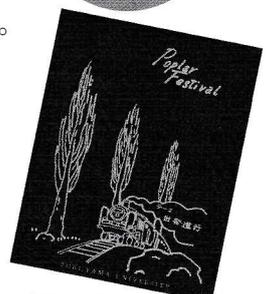
- 2食付… 4.5畳-15,000円
- 6畳-16,000円
- 部屋のみ… 4.5畳- 5,000円
- 6畳- 6,000円

学寮は光風、北斗寮の二学寮がある。

寮費は食事なしで月額約 5,500円(4畳半)

現在寮生約60名が共同生活を営んでいる。

教育の本業に立ち返って、学生の知的・道徳的錬成を行なおうとするのが徳山大学である。本学の使命と教育の理念とに共感し、向学心にもえる諸君！こぞってわが大学に学理の道を求められよ。周南の丘の上に瀬戸内海を望む理想の学舎、徳山大学は諸君の入学を心から歓迎する。



第1回ポプラ祭パンフ表紙
テーマ「出発進行」とあります。

特集 兼重先生・松尾先生のお二人が今年3月をもちまして定年退職を迎えられました。

お二人の先生にメッセージをいただきましたのでご紹介します。



兼重宗和 先生

つとめて40年。思い出は走馬燈の如く浮かんできます。学校行事の萩往還・体育祭・EQ研修会、課外活動での教育研究会の勉強会・地歴研究会の現地調査・硬式野球部の神宮出場・テコンドー部のオリンピック出場など学生さんの活躍を思い出します。また、研究面では『徳山海軍燃料廠史』の石油文化賞の受賞など思い出は尽きません。現在大学が、実施しているCOC事業を理事長・学長を中心に教職員・学生さんのシーズを十分発揮され更に発展させ、世界に冠たる大学になることを願っています。皆様の協働力は必ず実を結びます。学生の皆さん、吉田松陰が「学問をする眼目は、自己を磨き自己を確立することにある」と述べるように、進むべき道を時代の流れを鑑みしっかり学んで下さい。卒業生の皆さん、本学で身につけた知



識・技能やEQ力を社会で十分発揮され少子高齢化、AIにより変わりゆく社会・ビジネスの荒波を乗り越えて下さい。更なるご活躍を心から祈念します。また、校友会に出席され、親交を深めるとともに母校への応援宜しくお願い致します。最期に間もなく大学は50周年を迎えます。是非進化する大学を見に足を運んで下さい。

今後私は非常勤として大学にお世話になりますが、地域貢献を主眼に置いて活動していきたいと存じます。趣味の釣りも続けたいです。



松尾静香 先生

大学に1980年に就任して、37年この学園で人生と共に歩んできました。

いろいろな思い出が、走馬燈のように過ぎ去ります。思い出深い事が幾つかあります。

私の授業の中で、徳山女子短期大学時代、野外授業で、夏期はスキューバダイビングで萩や唐津の海でCカード取得し、ファンダイブで綺麗な海を潜り、冬期は管平高原にてスキーやスノーボードで、学生と共に学んできました。

また、これからも本学は、地域と共に飛躍し、より豊かな高等教育が提供できる学園になれる事を期待しております。

本学で教育を受け、卒業された卒業生達は、社会に貢献できる人材に育っています。とても嬉しく思います。

これからの人生は、できれば地域のみなさんのために、スキル貢献し、一住民として、楽しむ人生を送りたいと思います。

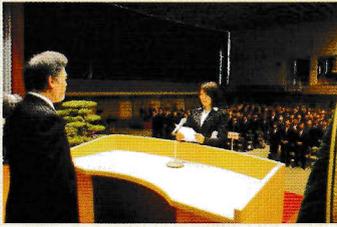


◎とくだいインフォメーション◎

平成二十八年度入学式挙行される

平成28年4月2日(土)平成28年度徳山大学入学式が記念館で挙行されました。今年度入学生は三〇名で昨年度を大きく上回りました。学長の式辞の後、新入生代表宣誓では経済学部ビジネス戦略学科、水津桃果(すいづももか)さんが「本学の「知・徳・体」一体の教育理念を礎とし、勉学や諸活動に励み、E・Q教育を修め、社会に貢献できる人間力を養いたいと思います」と宣誓を行いました。その後、来賓としてご出席いただいた周南市木村健一郎市長、周南市議会金井光男副議長、徳山商工会議所有吉毅彦副会頭より祝辞を賜りました。式の締めくくりとして吹奏楽団の生演奏による校歌斉唱が行われ、粛々とした感動の中、終了しました。

入学式のあとは、学生食堂周辺で新入生歓迎のさくらまつりが開催されました。この祭りではお茶席や、学生サークルによる徳山大学オリジナル珈琲の無料試飲会、さらには、校友会協賛による餅まきなど行われ、歓迎ムードも最高潮に達しました。



代表宣誓を行う水津さん



学食前盛り上がる餅まき

濱田真由選手オリンピック出場壮行会開催される



7月8日(金)本学三〇一教室において、リオデジャネイロオリンピックにテコンドー競技で出場する濱田真由選手(経済学部3年)の壮行会が開催され、教職員学生一般の方を含む約三百人が濱田選手を激励しました。濱田選手は日本選手団のユニフォームで入場、大きな拍手に包まれ登壇しました。池田理事長、岡野学長からの激励の挨拶に続き、徳山大学学長並びに徳山大学校友会井上幹事長より激励金が手渡されました。濱田選手は返礼として決意表明を行い「金メダルを目標に、最良のコンディションで臨みます」と力強く述べました。最後に学生代表として学生会執行部委員長天満恭平(福祉情報学部2年)君より花束が贈呈されました。

試合は8月18日に開催され、惜しくも2回戦敗退となりました。



熊本地震募金支援活動 学内・学外で行われる

5月21日(土)周南市の徳山駅近く銀座商店街22日(日)に下松市のショッピングモールにおいて、19名の学生がボランティアはじめ有志教員の協力を得て、熊本地震支援バザーを実施され、バザーの売上金と寄付金については、すべて熊本県益城町の障がい者耕心会の施設に寄付されました。また、学内においても学生会執行部が中心となり義援金の募金活動が行われ、教職員・学生・一般の方の多くの募金箱が集まりました。この義援金活動は大学祭まで続けられ日本赤十字社の方へ届けられました。



第1回共創プロジェクト対話集会開催される

10月22日(土)第1回共創プロジェクト対話集会が大学で行われました。この集会は、高校生、高専生、大学生が集まり、「地域の問題点について話し合う」ことを目的に開催されました。この対話集会開催をきっかけに徳山大学生が中心となり、高校生、高専生と学生のいるまちづくり実行委員会『がくまち』も立ち上がりました。この中心メンバーの一人が福祉情報学部2年の山根理代さんで、これらの活動について周南市から注目され「広報しゅうなん」に、写真と共に掲載されました。このような活動がこれからも学生の皆さんが中心となり、高校生の皆さんと共に、これから長く続けていくことができるように、活動を見守り続けたいと思います。

おたよりコーナー - 校友会にお寄せいただいた
お便りをご紹介します -

●10期 広島市在住 北 幸夫 さん

初めて校友会にお便りします。校友会誌を毎回懐かしく読ませていただいています。卒業して、はや32年・・・？校友会誌を見るたびに、懐かしい先生、教職員の方々をお見受けします。この度、吉岡先生が、還暦をお迎えになられることを聞いてびっくりです。たぶん、私が入学したときには、まだまだお若かった。武勇伝は、あの山下泰裕さんに勝ったことがあると聞いていました。あと、「萩往還道」私も山口市から萩市まで8時間（35kmだったかな？）袴をはいて歩きました。今では懐かしい思い出です。私は、仕事をしながら〇〇中学校卓球部のコーチ、広島市卓球協会の理事をし、小中学校の試合の手伝いをさせていただいています。周南市には、毎年1月に試合があり卓球部の先輩にお会いします。大学の方には行った事はないのですが、今度行く機会がありましたらお伺いしたいと思います。徳山大学の益々の発展をお祈りします。中村道陽くん（たぶんヨット部デシタネ？）頑張ってください。

●11期 三原市在住 真鍋 重夫 さん

毎回、校友会誌を楽しく読ませてもらっています。後輩の皆さんの活躍を目にすると、少し、誇らしい気持ちになります♪今後も皆様のスポーツなどでの活躍に期待しています。頑張ってくださいね☆

●14期 広島県在住 角川 光生 さん

卒業して、何年たとうが、”桜”の季節になると当時の下宿先”桜馬場”の光景がよみがえります。校友会誌を見て、懐かしさと同時にもう一度戻りたい気持ちです。

編集部より みなさま、お心のこもったメッセージをいただき、ありがとうございました。

●住所変更等について●

お問い合わせ (0834)28-7454

卒業後の住所変更について

お問い合わせ
Contact form



校友会では卒業生の皆様の住所変更等についてホームページから手続きができます。徳山大学のホームページから「卒業生の皆様へ」のタブを押し、「徳山大学校友会」のバナーを押していただくと左記のバナーがありますので、ここをクリックしてください。

- 校友会誌隔年発行について -

次年度より、校友会誌については、紙媒体での発行（郵送）は隔年とさせていただきます。但し、校友会ホームページの方では、毎年編集発行する校友会誌を見ていただけるように準備いたします。従いまして、次号校友会誌第42号はWEB版のみとなりますので、ご留意いただけますようお願い申し上げます。



いろいろな方にご協力をいただき校友会誌編集は成り立っております。私も編集を続けて四半世紀は過ぎました。そろそろバトンリレーも考えたいと思いますが、任せられたからには頑張ります。北先輩懐かしいお便りありがとうございます。皆様これからも校友会の活動をお見守り下さい。(中村)

編集後記・お礼

《プレゼントコーナー》

①澄川酒造（萩）

東洋美人純米吟醸大辛口
3名様

今や山口県を代表するお酒のひとつです。



②山懸本店（周南）

焼酎2本セット（米・芋）
3名様

おなじみ周南市徳山の地元焼酎です。



③杉本利兵衛本店（防府）

金銀竹輪セット
3名様

お酒にも合う食感が独特で人気のある竹輪です。



希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えの上、

■郵送の場合

〒745-8566

山口県周南市学園台 徳山大学校友会

■Eメールの場合

kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

ご送付ください。

※ご意見・ご感想は、誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。

また、個人情報については、事務連絡のみに使用させていただきます。

—編集スタッフ—

企画広報部長 藤井辰郎（25期）中村道陽（11期）

藤田美恵（事務局）

印刷・デザイン： 東洋印刷 協力 徳山大学